

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2015-53993  
(P2015-53993A)

(43) 公開日 平成27年3月23日(2015. 3. 23)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 6 1 M 1/14 (2006.01)	A 6 1 M 1/14 5 1 7	2 G 0 4 5
G 0 1 N 33/48 (2006.01)	G 0 1 N 33/48 Z	4 C 0 7 7

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 20 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2013-187712 (P2013-187712)</p> <p>(22) 出願日 平成25年9月10日 (2013. 9. 10)</p> <p>(11) 特許番号 特許第5641459号 (P5641459)</p> <p>(45) 特許公報発行日 平成26年12月17日 (2014. 12. 17)</p>	<p>(71) 出願人 599035627 学校法人加計学園 岡山県岡山市北区理大町 1 - 1</p> <p>(74) 代理人 100113181 弁理士 中務 茂樹</p> <p>(74) 代理人 100180600 弁理士 伊藤 俊一郎</p> <p>(72) 発明者 中川 益生 岡山県岡山市北区理大町 1 - 1 学校法人 加計学園岡山理科大学内</p> <p>(72) 発明者 尾崎 眞啓 岡山県岡山市北区理大町 1 - 1 学校法人 加計学園岡山理科大学内</p>
---	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 透析排液から患者の体液内の初期溶質量を決定する装置

(57) 【要約】

【課題】 非侵襲的に細胞膜のクリアランスと細胞内の尿素濃度を決定することができる装置を提供する。

【解決手段】 透析排液から患者の体液内の初期溶質量  $M_{pre}$  を決定する装置であって、透析排液中の溶質濃度  $C_D(t)$  の時間変化特性を計測することにより細胞膜のクリアランス  $K_1$  を決定する手段と、前記細胞膜のクリアランス  $K_1$  から細胞内液初期溶質濃度  $C_1(0)$  を決定する手段と、前記細胞内液初期溶質濃度  $C_1(0)$  から初期溶質量  $M_{pre}$  を決定する手段とを備えたことを特徴とする装置である。

【選択図】 図 1

